

かしこく なかよく たくましく



沼田町立沼田学園沼田小学校 学校だよりNo.12 令和7年2月28日発行

北海道新聞 読者の声 「ゲームの時間制限を決めよう」

校長 吉田 純一

先月27日の北海道新聞をご覧になりましたか。「読者の声」に5年生の神山徠さんが投稿した「ゲームの時間制限を決めよう」が掲載されました。

ゲームの時間制限を決めよう

小学生 神山 徠 (空知管内沼田町)

僕はゲームの時間制限は必要だと考える。国立教育政策研究所の調査によると、1日のゲーム時間が長くなるにつれて子どもの成績が低くなるというデータがでている。さらにゲームをやりすぎると「ゲーム依存症」になってしまうかもしれない。ゲーム依存とは、食事や睡眠の時間を削ってまでゲームにのめり込んだり、ゲーム以外のことに興味がなくなったりすることだ。不登校や情緒不安などの問題を抱えてしまう例もあるそうだ。まだ依存するところまでいっていないから大丈夫と思っている人もいるだろう。でも2020年12月に長崎大の研究チームが実施した調査では、小学生の7.3%にゲーム依存に該当する可能性があったという。「自分は大丈夫」と言い切れるだろうか。ゲームのやり過ぎで姿勢や視力が悪くなるかもしれない。こうした理由から僕は「1日1時間まで」など、ゲームの時間制限を自分で決める必要があると考えている。

神山さんは、国立教育政策研究所や長崎大の調査データをもとに、自分の考えを論理的にまとめ発信しました。その内容には説得力があります。神山さんの「1日1時間まで」という考えについて、保護者の皆さんはどうお考えでしょうか。

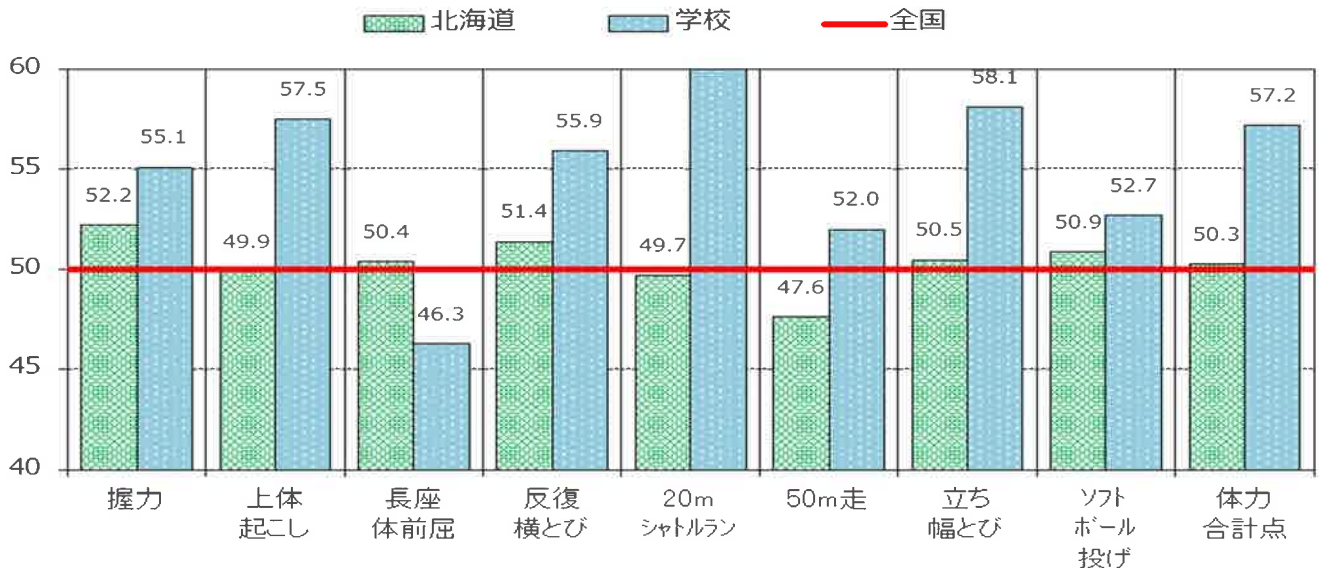
お子さんの中には、神山さんのように自らゲームの時間を決め、生活のリズムを整えている子もいるかもしれません。この投稿をきっかけに、ご家庭でも改めて1日の生活を振り返り、帰宅後から就寝までの限られた時間をどう有意義に過ごすか、話し合ってみてはいかがでしょうか。もし、まだ明確なルールを決めていない場合は、お子さんと相談し、お子さん自身が納得できるルールを決めることが大切です。生活習慣は、一つひとつの努力の積み重ねで身に付くものです。お子さんの小さな頑張りを見逃さず、たくさん褒めることで、より良い習慣が定着していくと思います。ご家庭での協力をよろしくお願いいたします。

今回、沼田町の代表として、自分の考えを北海道全域に発信した神山さん。これは、11月23日に掲載された一戸結愛里さん(6年生)の「寄付続けて貧困なくそう」、12月17日の細川夏希さん(6年生)の「遊びたくなる公園を造って」に続く快挙であり、沼小の子どもたちにとって、大きな自信と挑戦の第一歩となるものです。今後もこのような発信を通じて、子どもたちが自分の考えを持ち、それを多くの人に伝えようとする姿勢を大切に育てていきたいと思っています。

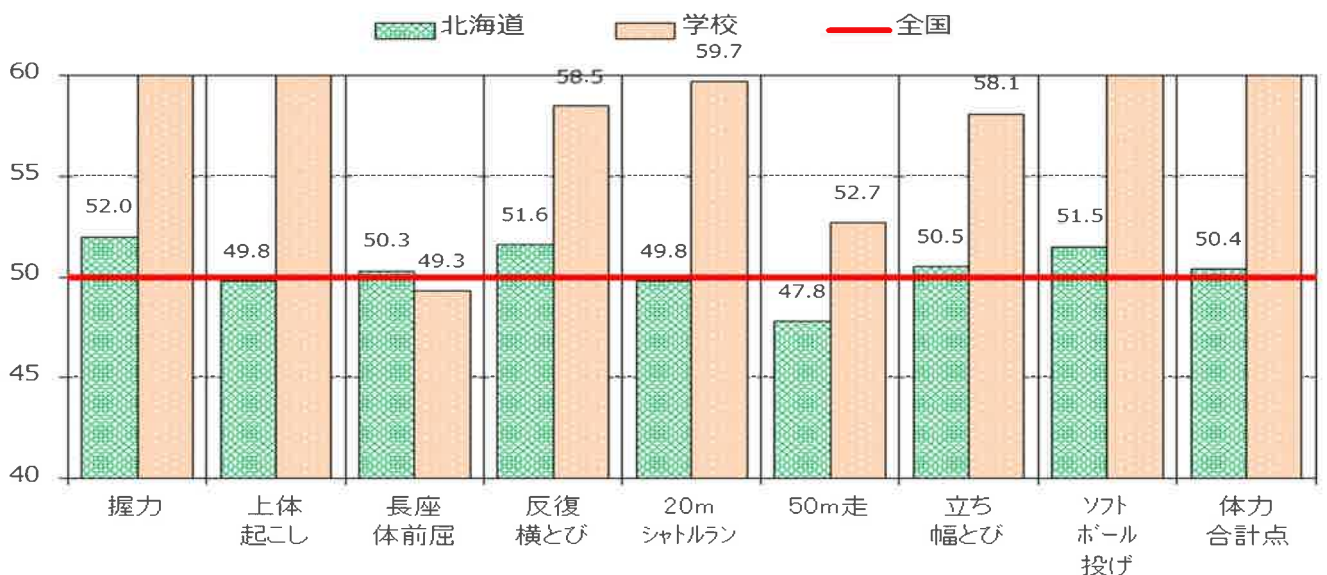
沼田小全国体力調査（５年）

○男女とも全国平均上回る体力！

実技調査Ｔ得点（男子）



実技調査Ｔ得点（女子）



体力テスト結果分析

このページのグラフは、沼田小学校５年生が参加した「令和６年度全国体力・運動能力・運動習慣調査」の結果を示しています。赤い線は全国平均を表しており、オレンジ（女子）および水色（男子）の棒グラフが赤い線より上に伸びているところは、本校の児童が全国平均を上回る成果を示していることになります。

女子の結果を見ると、全体的に優れた成績が多く、特に「上体起こし」「反復横跳び」「20m シャトルラン」「ソフトボール投げ」は昨年度に引き続き高い成果を維持しました。さらに「握力」「立ち幅とび」においても、全国平均を大きく上回る結果となり、筋力・瞬発力の向上が見られました。

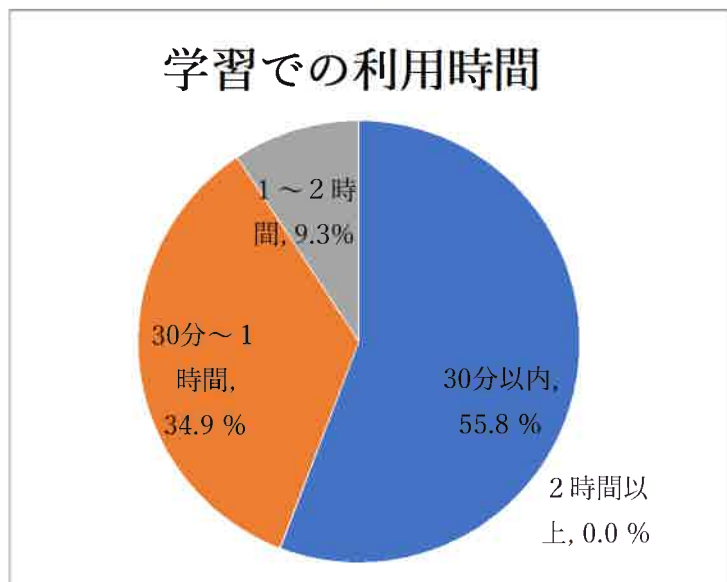
男子においては、「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」の数値が特に高く、「50m 走」「ソフトボール投げ」も全国平均を上回る結果となり、全体的に向上が見られました。男女ともに柔軟性が求められる「長座体前屈」では課題が残りました。

本校の課題としては、昨年度に引き続き「柔軟性の向上」が挙げられます。持久力である「20m シャトルラン」については昨年度よりも向上した学年が多く、日々の運動の成果が表れていると言えます。今後も「朝の運動」や「Nリンク」との連携を強化し、児童の体力向上を図っていきます。

情報モラルアンケート結果

先日実施いたしました「情報モラルアンケート」につきまして、多くのご回答をいただきました。来年度の重点と関連付けて、結果の概要を以下の通りお知らせいたします。

1. 学習における ICT の活用状況



本アンケートによると、児童の 55.8%が1日 30 分以下の時間を ICT を活用した学習に費やしており、30 分～1時間が約 34.9%、1 時間以上は 9.3%未満という結果でした。

2. インターネット利用時間との関係

「お子様は各機器を1日平均どれくらい使っていますか？」と学習時間の関係を分析したところ、

- ◇ インターネット 2 時間以上の利用者で ICT 活用学習 30 分以下 (赤) が 7.0%
- ◇ インターネット利用の時間と ICT 活用が同等 (青) が 16.3%

インターネット利用時間と学習時間が同等となること (青) が望ましいと考え、デジタルツールの利用目的を「娯楽」から「学習」へシフトする意識付が必要であることが分かります。ICT の活用が「個別最適な学び」に結びつくよう、学校でも学習環境を整えてまいります。

3. 家庭での情報モラルに関する指導

ネットや SNS の使い方について話し合う頻度を調査したところ、

- ◇ 「ほとんど話し合わない」家庭が約 20%
- ◇ 「週 1 回以上話す」家庭は約 30%

情報機器の利用に関するルールや、ネットリテラシーについて、家庭でも話し合いを進めることが重要です。

4. 保護者が求める学校での指導

本アンケートでは、保護者の方々が特に学校で指導してほしい内容として、

- ◇ 「マナー」(約 50%)
- ◇ 「被害に巻き込まれないようにする方法」(約 50%)

が最も多く挙げられました。この結果を受け、学校では情報リテラシー教育の充実を図り、安全なインターネット利用の方法についても指導を行ってまいります。

5. 保護者が懸念している点

保護者の方が特に心配していることとして、

- ◇ 「学習の妨げ」「生活リズムの乱れ」(約 13%)
- ◇ 「ネットいじめ」「詐欺などの事件に巻き込まれること」(約 8%)

が挙げられました。これらの結果を踏まえ、学校ではネット依存の予防策や、生活習慣の維持に関する指導を進めてまいります。

今後の方向性

今回のアンケート結果と来年度の重点を踏まえ、

- ✓ ICT 活用を「主体的な学び」に結び付ける工夫を増やす
- ✓ 家庭と連携した情報モラル教育を強化
- ✓ 保護者の懸念を反映した安心して学べる環境づくり

を進めてまいります。

ご家庭でも、お子様のインターネット利用について話し合う機会を持ち、学習時間の確保とバランスの取れた活用を心がけていただければと思います。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

インターネット利用	ICT活用学習 30分以下	ICT活用学習 30分～1時間	ICT活用学習 1時間～2時間	ICT活用学習 2時間以上
2時間以上	7.0%	7.0%	7.0%	0.0%
1時間～2時間	20.9%	18.6%	2.3%	
30分～1時間	20.9%	7.0%		
30分以下	7.0%			

子どもが、主体の委員会活動

保体委員主催そりリレー大会では、全校児童が校舎前で楽しく交流し、親睦を深めました。



冬の学習（そらち自然学校・氷づくり）

森をもっと良くするための活動をしている「そらち自然学校」や生活科の「氷づくり」では、自然に親しむ学習を行いました。



新刊図書が入りました！

本に親しんでほしいという願いを込めて、公務員弘済会の図書助成に応募したところ、見事に 20 万円分の図書が寄贈されました。



【3月の行事予定】

2025/03/01	土	
2025/03/02	日	
2025/03/03	月	協議会(研修)⑨ 明日萌 (中止)
2025/03/04	火	PTA三役会⑦ PTA役員会③ (なし)
2025/03/05	水	スクールカウンセラー (9:00～)
2025/03/06	木	6年生を送る会
2025/03/07	金	
2025/03/08	土	
2025/03/09	日	
2025/03/10	月	卒業進級作品展 明日萌 職員会議
2025/03/11	火	
2025/03/12	水	卒業式練習①
2025/03/13	木	卒業式練習② 大掃除週間 (～21日)
2025/03/14	金	卒業式練習③ PTA監査会
2025/03/15	土	
2025/03/16	日	
2025/03/17	月	卒業式練習④
2025/03/18	火	卒業式練習⑤ 卒業式前日準備
2025/03/19	水	第115回卒業証書授与式
2025/03/20	木	春分の日
2025/03/21	金	大掃除
2025/03/22	土	
2025/03/23	日	
2025/03/24	月	修了式 離任式 臨時職員会議